令和６年度第２回
健康づくり推進協議会

資料１

協会けんぽ新潟支部
第３期データヘルス計画
（取り組みの状況と課題）

令和７年２月５日（水）　14:00～15:30

全国健康保険協会 新潟支部
協会けんぽ

１．協会けんぽ新潟支部　第３期データヘルス計画

２．健康課題を踏まえた検査値の改善等の目標

３．目標達成に向けた具体的な取り組み

１．協会けんぽ新潟支部　第３期データヘルス計画（健康課題と対策）

１．脳血管疾患による年齢調整死亡率は、男性第６位・女性９位（2020 年）で上位に位置（資料２Ｐ１参照）。脳血管疾患は命に係わる重篤な疾病であり、幸いにして存命しても言語障害や身体麻痺等の後遺症により就業や日常生活に大きな影響を与える（要介護となる主な原因は脳血管疾患）。

２．脳血管疾患の発症原因である動脈硬化は、高血圧が一番の促進因子。

３．健診受診者のうち血圧リスク保有者は、全国平均を下回るものの、男性では２人に１人（52.0%）女性では３人に１人（33.％）（資料２　Ｐ２参照）と他のリスクに比べ、割合が高い。

４．「塩分の多い食事」「喫煙」「多量飲酒」「運動不足」は高血圧症を引き起こし、さらには脳血管疾患の発症の原因となる。

生活習慣改善による高血圧症の発症予防や、適切な治療の継続による重症化予防を図ることが、脳血管疾患の発症を防ぐことにつながる

１．協会けんぽ新潟支部　第３期データヘルス計画（具体的な課題）

❍業態別の血圧値平均や各種リスク

業態別	腹囲（平均）	ＢＭＩ（平均）	収縮期血圧（平均）	拡張期血圧（平均）	腹囲リスク該当者割合	血圧リスク該当者割合	代謝リスク該当者割合	脂質リスク該当者割合	メタボリック予備群該当者割合	メタボリックリスク該当者割合
	2023年度	2023年度	2023年度	2023年度	2023年度	2023年度	2023年度	2023年度	2023年度	2023年度
合計	82.40	23.34	123.11	77.47	32.7%	43.8%	15.5%	29.0%	11.6%	15.1%
農林水産業	82.58	23.46	124.01	77.56	33.2%	46.8%	16.6%	29.4%	12.3%	15.2%
鉱業、採石業、砂利採取業	85.19	24.20	128.65	80.93	44.8%	61.9%	25.3%	39.5%	13.6%	26.1%
建設業	84.29	24.02	125.35	79.43	41.7%	51.2%	19.9%	35.8%	14.3%	20.5%
製造業	82.00	23.17	123.53	77.74	31.2%	43.7%	14.5%	27.0%	11.5%	13.5%
電気・ガス・熱供給・水道業	83.46	23.71	122.09	78.04	38.6%	41.8%	15.8%	32.9%	14.7%	16.2%
情報通信業	83.77	23.70	119.68	76.36	37.8%	35.5%	14.9%	33.7%	13.5%	16.5%
運輸業・郵便業	84.90	24.01	127.49	80.80	44.0%	56.7%	21.2%	36.1%	15.2%	22.8%
卸売・小売業	82.38	23.28	123.02	77.48	32.8%	42.8%	15.3%	28.5%	11.5%	14.9%
金融・保険業	83.62	23.58	120.48	76.14	38.8%	39.9%	16.0%	33.7%	13.0%	17.4%
不動産業・物品賃貸業	81.92	23.13	120.65	75.80	31.5%	38.9%	14.3%	29.7%	11.6%	13.3%
学術研究機関・専門技術サービス業	82.35	23.27	120.15	76.04	32.1%	38.8%	14.7%	29.5%	11.2%	14.3%
宿泊業・飲食サービス業	81.49	22.97	122.39	76.14	29.8%	40.7%	16.3%	25.0%	10.3%	13.1%
生活関連サービス業・娯楽業	80.74	22.78	121.51	75.99	25.7%	38.0%	11.9%	24.2%	9.3%	10.6%
教育・学習支援業	81.26	22.84	120.34	75.36	27.6%	36.2%	11.5%	25.2%	10.2%	11.4%
医療・福祉	80.23	22.77	119.57	74.45	21.5%	34.4%	10.6%	22.8%	7.6%	9.0%
複合サービス事業	82.85	23.33	123.70	77.51	33.8%	45.3%	18.1%	30.3%	11.9%	16.7%
サービス業	82.56	23.37	123.56	77.70	33.5%	45.1%	16.9%	29.3%	11.7%	16.2%

⇨ 運輸業・建設業で平均収縮期血圧が新潟支部全体に比べて高い（各業種の年齢層は資料２　Ｐ３参照）。

1．協会けんぽ新潟支部　第３期データヘルス計画（具体的な課題）

❍業態別の加入者数・健診受診率など

業態別	事業所数	加入者数	被保険者数	被扶養者数	健診受診者	健診受診率	初回面談率	実績評価率	1件当たり医療費
	2024/09	2024/09	2024/09	2024/09	2023年度	2023年度	2023年度	2023年度	2023年度
合計	40,412	741,698	480,139	261,559	294,833	78.6%	31.6%	25.1%	23,456
01　農林水産業	1,389	11,618	7,015	4,603	4,021	76.0%	34.0%	26.8%	26,813
02　鉱業、採石業、砂利採取業	108	2,065	1,267	798	964	84.0%	32.1%	24.2%	30,662
03　建設業	8,297	125,358	70,372	54,986	45,227	80.2%	29.4%	23.6%	27,247
04　製造業	5,616	171,542	113,110	58,432	73,885	85.7%	35.0%	29.0%	22,362
15　電気・ガス・熱供給・水道業	151	4,135	2,246	1,889	1,472	91.4%	45.0%	37.9%	24,046
16　情報通信業	689	10,785	6,786	3,999	4,365	88.2%	50.3%	40.8%	24,328
17　運輸業・郵便業	888	52,199	31,953	20,246	22,153	78.4%	24.6%	16.9%	26,556
19　卸売・小売業	6,957	92,518	59,043	33,475	36,488	77.6%	34.6%	27.9%	23,735
23　金融・保険業	381	3,811	2,160	1,651	1,465	78.1%	35.5%	29.8%	24,180
24　不動産業・物品賃貸業	2,567	12,138	7,846	4,292	4,461	69.4%	38.2%	30.4%	25,059
26　学術研究・専門技術サービス業	2,288	20,671	13,033	7,638	7,989	78.3%	38.8%	33.9%	22,489
28　宿泊業・飲食サービス業	2,096	22,893	15,906	6,987	6,856	61.3%	25.3%	19.6%	23,618
30　生活関連サービス業・娯楽業	1,577	19,151	13,431	5,720	7,230	75.8%	27.2%	16.9%	24,100
32　教育・学習支援業	343	7,099	5,095	2,004	2,632	80.3%	36.8%	25.7%	21,609
33　医療・福祉	2,908	119,863	87,009	32,854	47,503	72.8%	28.2%	20.9%	20,399
35　複合サービス業	268	1,657	1,101	556	783	86.3%	26.6%	22.9%	19,453
36　サービス業	3,889	64,195	42,766	21,429	27,339	76.5%	28.1%	22.8%	23,981

⇨ 新潟県の健診受診率は比較的高い傾向。生活習慣改善のきっかけである特定保健指導の初回面談・実績評価は低い傾向。

２．健康課題を踏まえた検査値の改善等の目標（脳血管疾患対策）

【健康日本２１（第２次）における循環器の目標設定の考え方】

❍国民の収縮期血圧平均値を 4mmHg 低下させるだけで、脳卒中死亡数は男性で 8.9%減少、女性で 5.8%減少すると推計されている。（下図は「高血圧治療ガイドライン 2019」より抜粋）

図1-7　国民の収縮期血圧の分布を低い方向へシフトさせるポピュレーション戦略

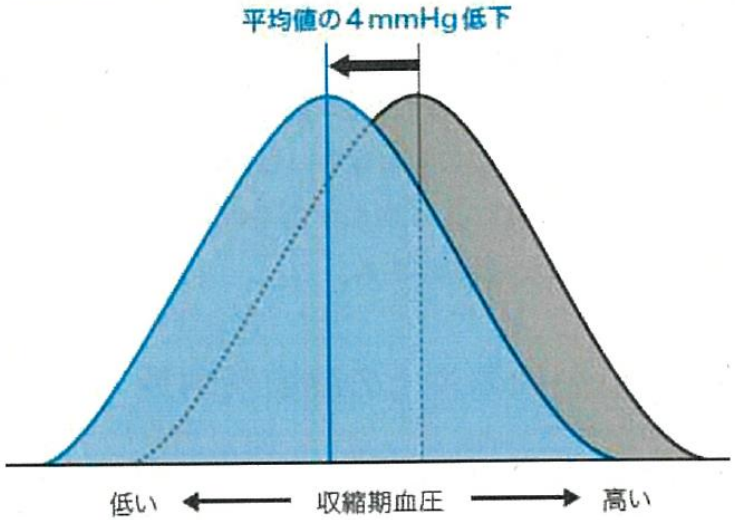
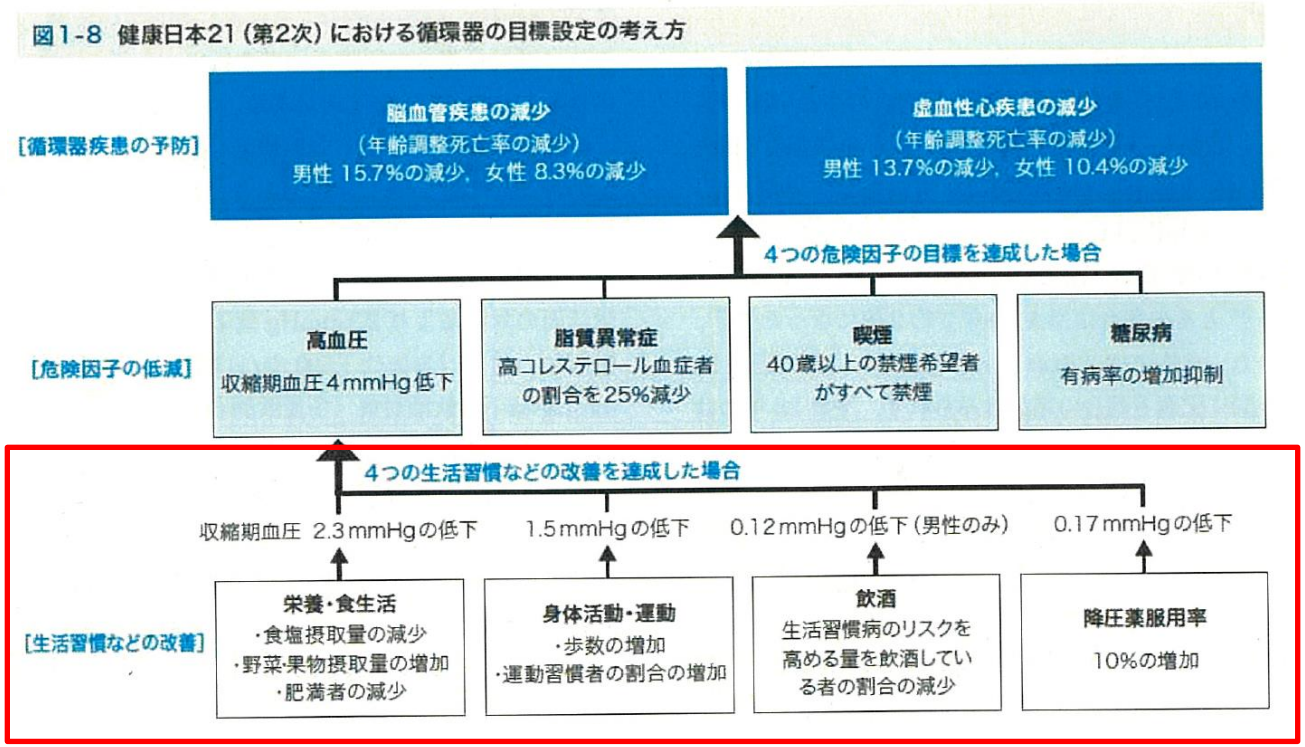


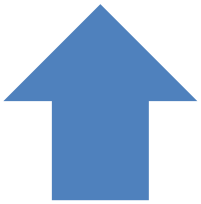
図1-8　健康日本21（第2次）における循環器の目標設定の考え方



２．健康課題を踏まえた検査値の改善等の目標（上･中･下位目標）

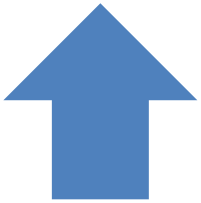
【上位目標】：対策を進めるべき重大な疾患（10 年以上経過後に達するゴール）

脳血管疾患の発症を防ぐ（＝脳卒中死亡数の減少）



【中位目標】：６年後に達成する目標

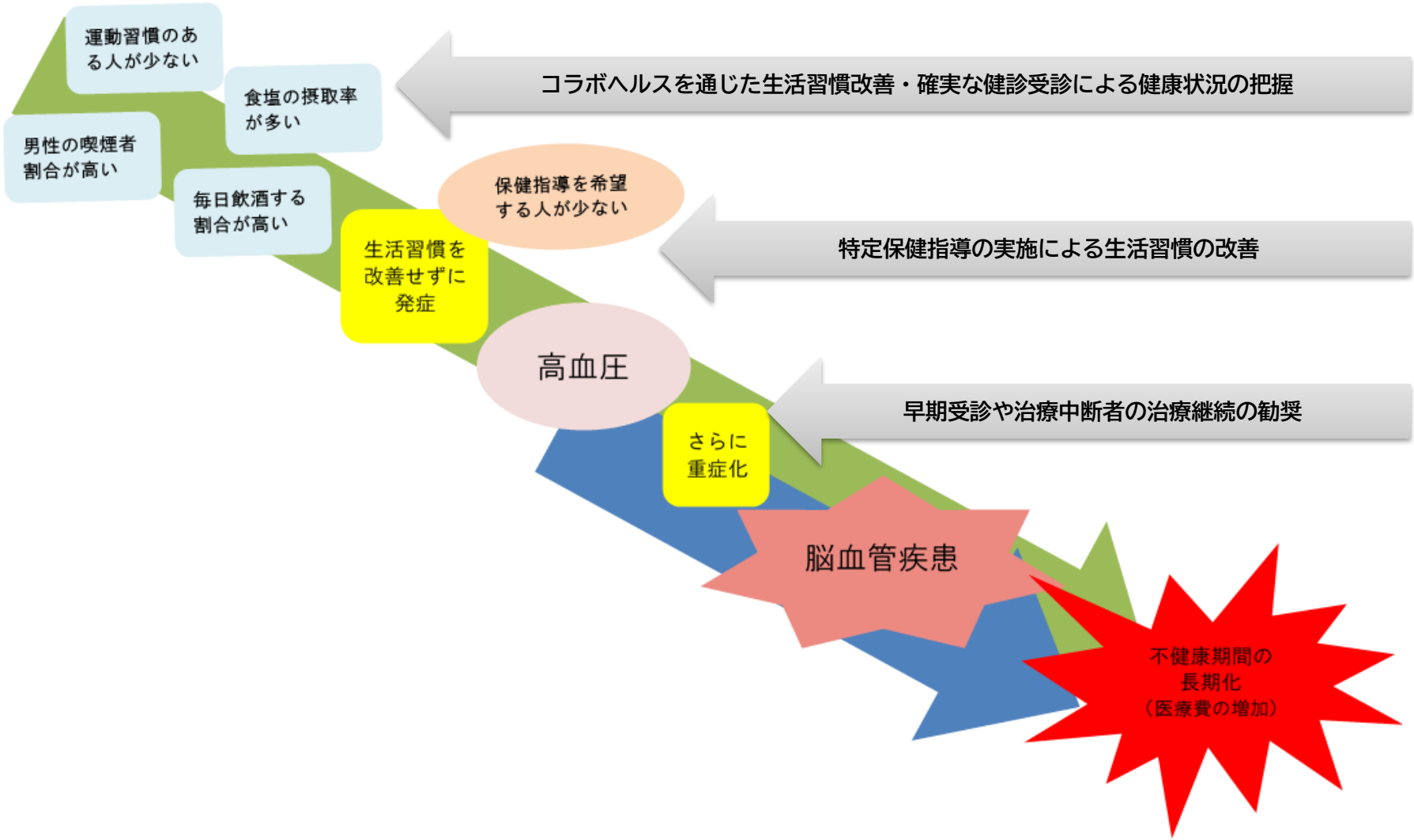
３５～６４歳の被保険者の収縮期血圧平均を４mmHg 減少させる



【下位目標】：単年度の目標

運輸業・建設業に的を絞った取り組み

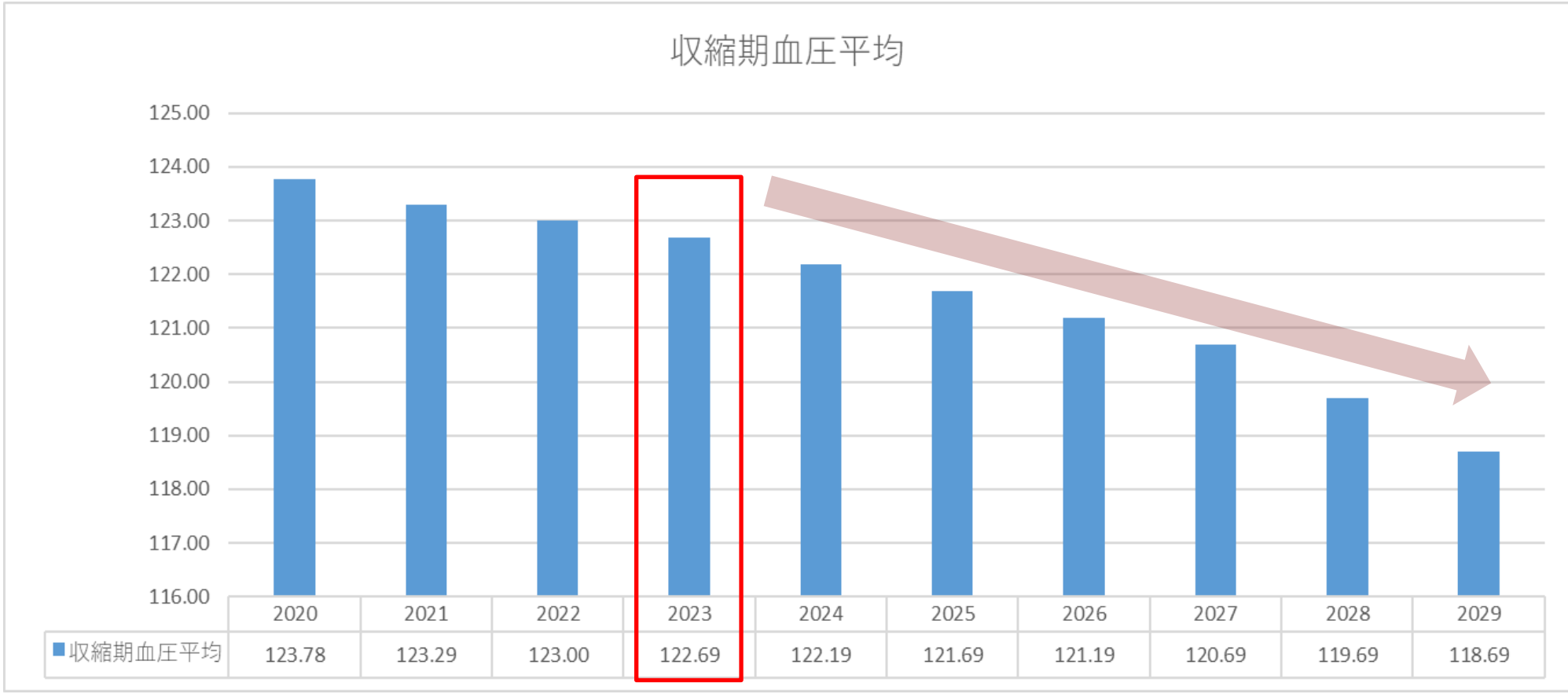
２．健康課題を踏まえた検査値の改善等の目標（改善の取り組みイメージ）



３．目標達成に向けた具体的な取り組み（中位目標の設定）

【中位目標の各年度の目標値】６年後に達成する目標

35～64 歳の被保険者の収縮期血圧平均を 4mmHg 減少させる



	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
収縮期血圧平均	123.78	123.29	123.00	122.69	122.19	121.69	121.19	120.69	119.69	118.69

３．目標達成に向けた具体的な取り組み（下位目標達成の取り組み）

【取り組み①】（現在の実績やツールは資料２　Ｐ４～Ｐ８参照）

これまで進めてきた、健診受診率や特定保健指導実施率の向上、重症化予防、コラボヘルスの推進について、引き続き、数値目標（KPI）の達成を目指していく。

健診実施率の向上	
取組	生活習慣病予防健診の受診を事業所に勧奨するとともに、定期健康診断を受診している事業所に対しては、定期健康診断結果データの提供を依頼する。
進捗	① 生活習慣病予防健診の利用が少ない小規模事業所の被保険者（10,603 事業所　19,270 人）に対し、受診案内を自宅に送付。 ② 事業者健診結果データが 5 人以上未提供となっている 1,000 事業所（15,000 人）に対し、新潟労働局との連名による、事業者健診結果データの提供勧奨を実施。 ③ 12 月～1 月にかけて、被保険者数が 100 名以上で事業者健診結果の提供が無い 2 事業所に訪問を予定。 ■ その他、生活習慣病予防健診の利用促進を図るために、各健診実施機関で実施目標の設定と定期的な進捗確認を実施 現時点で 38 機関中 16 機関が目標を上回っている

特定保健指導実施率の向上	
取組	① 健診機関に働きかけ、健診当日の特定保健指導の実施を拡大する。 ② 生活習慣病予防健診受診者に加え、定期健康診断受診者に対しても特定保健指導の勧奨を実施し、特定保健指導の該当者すべてに、特定保健指導の利用案内を行う。
進捗	① 特定保健指導未利用事業所への文書・電話や訪問により「特定保健指導当日実施同意書」の提出勧奨を実施し、目標事業所数 115 件に対し、11 月末時点で 114 件を達成。 巡回健診の実施が多い特定保健指導実施機関へ働きかけ、巡回健診当日の特定保健指導の実施を促進し、巡回健診当日の特定保健指導の実施事業所、目標 8 件に対し 11 月末時点で 3 件に実施。 ② 健診結果の共同利用不可を申出てから３年以上経過した事業所へ文書で利用案内の送付可否について再度確認し、特定保健指導の利用案内数の増加を図った。また従来の作業工程や独自の案内リストを精査し、手作業により行っていた案内業務について、ＲＰＡを活用し業務の効率化を行い、利用案内数の増加を図った。 ■ その他、健診機関における特定保健指導の実施促進に向けて、各健診実施機関で実施目標の設定と定期的な進捗確認を実施 現時点で 23 機関中 15 機関が目標を上回っている

重症化予防	
取組	① 健診機関による健診直後の受診勧奨の強化 ② 事業所を通じた本人への受診勧奨（外部委託・協会保健師）の実施 ③ 自治体と連携した受診勧奨等の実施
進捗	① 健診当日の検査結果を踏まえ、要治療者の早期受診を目的に健診機関による受診勧奨を実施。 健診機関からの勧奨報告に基づき、要治療者の受診率の調査を進める。9 機関 1,377 名に対して勧奨実施。（11 月末時点） ② 外部委託業者より、事業主・健診担当者あてに対象者本人宛のアンケートを送付したうえで、本人への受診勧奨を実施。本人より了承を得られた場合は、事業所へ受診勧奨の協力依頼を実施。事業所への勧奨：文書 4,663 件・電話：3,662 件、受診勧奨対象者への電話勧奨：8,248 件を実施。（11 月末時点） より重症度が高い被保険者が在勤する事業所へ協会保健師が訪問し、受診勧奨・受診確認を依頼 13 社（11 月末時点） ③ 南魚沼地域で国保が実施しているスキームを活用した腎専門医への文書による受診勧奨を実施。 上越市・魚沼市・見附市・長岡市・柏崎市では、市の保健師や管理栄養士による糖尿病重症化予防サポートの案内・利用勧奨を実施。対象者 228 人のうち医療機関への受診が確認できた者は 113 人 49.6%。 ※ 受診勧奨の基準（次のいずれかに該当し服薬の無い者） ア 血圧：収縮期血圧値 160mmHg 以上又は拡張期血圧値 100mmHg 以上 イ 血糖（空腹時血糖値）：126mg/dl 以上又は HbA1c(NGSP 値)6.5%以上 ウ 脂質（LDL コレステロール値）：180mg/dl 以上

コラボヘルス	
取組	① にいがた健康経営宣言事業所の拡大 ② 宣言事業所のフォローアップ「健康づくり講座」の実施 ③ 事業場内でのポスター掲示による職場の健康づくり推進 → 新潟県が進める「健康立県にいがた」の「食生活」、「運動」、「デンタルヘルス」、「たばこ」、「早期発見・早期治療」の５つのテーマに沿った 44 種類のポスター
進捗	① にいがた健康経営宣言事業所の拡大～令和 6 年 9 月現在の宣言事業所数：1,857 件（上期宣言事業所数：213 件） 以下の事業所に対して、電話勧奨を実施。 対象：新潟県・新潟市宣言事業所 378 件、ゆきぐに信組対象事業所 66 件、令和 5 年文書勧奨事業所 122 件、令和 4 年外部委託勧奨事業所 26 件 連携保険会社による制度周知と登録勧奨を実施。（上期宣言事業所数：15 件） ② 宣言事業所のフォローアップ「健康づくり講座」の実施～事業所からの申込件数：71 件（上限：80 件） 【申込件数が多かった講座】 → 「肩こり・腰痛予防ストレッチ」「腸から始める　食事・運動習慣改善セミナー」（各 15 件） → 「メンタルタフネスセミナー」「心のリラクセーション　自律神経編」「眼精疲労すっきりセミナー」（各 7 件） （ルネサンス委託分については、予定数に達したため 12 月 6 日に受付締切） ③ 事業場内でのポスター掲示による職場の健康づくり推進～事業所からの申込数：620 枚 → 新潟県が進める「健康立県にいがた」の「食生活」、「運動」、「デンタルヘルス」、「たばこ」、「早期発見・早期治療」の５つのテーマに沿った 44 種類のポスター 【申込みが多かった上位３種類】 ・簡単にできる肩こり・腰痛予防ストレッチ！！（43 枚） ・たばこは百害あって一利なし（28 枚） ・禁煙するといいことがある！（26 枚）

３．目標達成に向けた具体的な取り組み（下位目標達成の取り組み）

【取り組み②】（運輸業・建設業の実績と目標値は資料２　Ｐ９～Ｐ１１参照）

さらに、運輸業・建設業の健康課題改善に向けて、関係機関（業界団体・健診機関等）と連携を図りながら、集中的に取り組みを進めていく（運輸業への提案資料は参考資料「健康づくりに関するご提案」参照）。

北陸信越運輸局	
現状・課題	① 運輸業では、近年、健康状態に起因した事故の発生が再び増加しており、健康状態に起因した事故防止が最優先課題である。しかし、運輸局として事業所に対しマニュアル等を示して指導は行っているが、事業所の取り組み状況等は把握していない。 ② 健康診断で有所見でも医療機関受診勧奨・受診確認ができていない事業所が多い。 ③ 健康状態に起因した事故による死亡者が出た場合は、事業所に対し運輸局が監査を行い、運転手の健康状態や健康管理体制等の聴取・確認をして不備が認められると行政処分を行う。行政処分の決定にあたっては事業者に改善策の提出を求めている。処分決定の約１か月後に運輸支局が改善状況確認のための事業所監査を実施。
進捗	❍ **健康起因事故の発生防止に焦点を当てた、事業主・労務担当者向けリーフレットの作成および従業員向けポスターの作成** 協会けんぽ・北陸信越運輸局（新潟運輸支局）の連名による周知広報媒体を作成。北陸信越運輸局・協会けんぽ新潟支部のホームページに掲載し、運輸業事業所向けに活用を周知。

【運輸業共通の課題と対応策】

- 生活習慣病予防健診受診者のうち、未治療者勧奨対象者該当率 6.4%（重症域の二次勧奨対象者該当率 1.2%）。

  新規勧奨対象者数は減少傾向だが、経年での連続勧奨対象者数は増加傾向。特に、重症域の血圧・血糖のダブルリスク保有の対象者数増加。

⇨ 二次勧奨対象者のうち、より重症度が高い対象者（被保険者）が在勤事業所へ支部の保健師の訪問による受診勧奨・受診確認の依頼を強化。非メタボの重症度が高い対象者への健康相談を実施。

【３協会の現状・課題と進捗】

新潟県バス協会	
現状・課題	① 従来の広報誌による広く浅くの周知では事業主や従業員には伝わらないと感じている ② 広報誌だけでなく、連続的に会員あてのメール等も使いながらの周知が必要
進捗	① 北陸信越運輸局と共同作成の「事業主・労務担当者向けリーフレット、従業員向けポスター」を活用いただくため、11 月に会員専用ホームページにデータを掲載 ② 会員事業所のうち、大手バス会社について、協会けんぽと連携した高血圧対策の取り組みについて、声かけいただくことの了承をいただいた（→現在、営業所での特定保健指導実施について調整中） ③ 協会けんぽの「にいがた健康経営宣言」を行っている事業所へ、血圧計設置や協会けんぽの支援希望の調査アンケートを実施。アンケート結果で血圧計を設置している事業所について、バス協会より毎日の血圧測定について周知いただく予定

新潟県トラック協会	
現状・課題	① トラック協会では定期健康診断時の費用補助（一人当たり 5000 円）と血圧計(取得価格の 1/2）の補助を行っている ② 受診が義務づけられている定期健康診断について、費用補助の申請は 90%以上となっているが、血圧計の補助は健康意識の高い事業所の申請のみという状況 ③ 人材不足で従業員の健康の大切さは事業所も認識しているが、競争が激しいなか、健康づくりの優先度（費用含め）を高められるかどうか ④ 協会けんぽで事業所の健康づくりを無料で行うとなれば、興味を持つ事業所は少なからずある
進捗	① 北陸信越運輸局と共同作成の「事業主・労務担当者向けリーフレット、従業員向けポスター」を活用いただくため、11 月にホームページにデータを掲載 ② 高血圧対策の第一ステップとして、点呼時の血圧測定の導入を提案。トラック協会で血圧計購入の費用助成を行っているが、周知の仕方が課題で普及が進んでいないとのことであった ③ 協会けんぽの「にいがた健康経営宣言」を行っている事業所へ、血圧計設置や協会けんぽの支援希望の調査アンケートを実施。実施結果に基づき、協会けんぽが会員事業所へ訪問する際に、血圧計未設置の事業所にはトラック協会の費用助成を活用した血圧計の設置、点呼時の血圧測定等について、サポートを実施予定

新潟県ハイヤー・タクシー協会	
現状・課題	① バスやトラックと大きく違うと感じているのは、ハイヤー・タクシーのドライバーの傾向として、生活習慣の乱れがある。夜勤業務が終わったら、お酒と脂っこいものを食べて寝るから肥満が進む。高齢化が進んでいることもあるが、運動不足も顕著。喫煙者も多く、タクシー乗り場で乗務員同士がタバコを吸いながら雑談している姿が多くみられる。 ② 何年か前にリハビリテーション病院の医師に相談し、乗務員向けの体操を作ろうと考えていたが、実現できなかった。業界全体の取り組みとして、各会社に健康づくりを考えさせる、乗務員でも簡単に実施できる取り組みが必要。
進捗	① 北陸信越運輸局と共同作成の「事業主・労務担当者向けリーフレット、従業員向けポスター」を活用いただくため、10 月に会員向けにメールでデータを送付 ② 理事会で取り組みを説明させていただく時間を設けていただき、参加いただいた理事の事業所のうち、14 事業所に訪問。個々の健康課題解決のため、協会けんぽの保健師・管理栄養士で具体的な取り組みをサポート中 ③ 高血圧対策の第一ステップとして、点呼時の血圧測定の導入を提案。ハイヤー・タクシー協会より「次年度事業計画のなかで『高齢化対策』を盛り込む予定であり、そのなかの事業の一つとして、協会けんぽ作成の血圧記録表や早見表を活用した点呼時の血圧測定の定着化や、測定できる環境整備の一環として血圧計購入費の一部補助の検討をしたい」と連絡があった ④ 協会けんぽの「にいがた健康経営宣言」を行っている事業所へ、血圧計設置や協会けんぽの支援希望の調査アンケートを実施。実施結果に基づき、点呼時の血圧測定や協会けんぽのサポートを予定